

「使用期限切れのスリ板体組問題使用」に関する 業務委員会開催！

3月18日、地本は「使用期限切れのスリ板体組問題使用」に関する申し入れについて、関西支社と業務委員会を開催しました。参加者は、渡邊副委員長、下茂副委員長、山本車両担当部長、今田運輸担当部長。会社側は、熊谷人事課課長代理、三浦運輸課課長代理、紫牟田車両課課長、川村人事課係長でした。

「申」第7号「使用期限切れのスリ板体組問題使用」に関する申し入れ
(2025年1月22日申入)

1. 今回の事象について、時系列で詳細に明らかにすること。

【会社回答】

2025年1月6日、SEK修繕職場の仕業班にて、J20編成12号車のたわみスリ板組の取替を行った際、仕業責任者がアリスに登録しようとしたところ、「基準範囲外のため登録できません」と表示された。その後、SEKにて確認したところ、当該たわみスリ板組は製造から35ヶ月を超過しており、本来廃棄すべきものであったことから、当日中に大井車両基地にて取替を実施した。今回の事象について調査すると、SEKが行うたわみスリ板体組の組立作業時に、組立前の期限確認を怠っていたことが判明した。

2. 今回の事象は、安全上重大な問題と考えるが、会社の見解を明らかにすること。

【会社回答】

たわみスリ板組の使用期限は製造から36ヶ月であるため、今回の事象については安全上問題はない。検修連絡では、35ヶ月経過している場合は、再組立せずに廃棄するように指示しており、今回は検修連絡違反となる。

3. 今回の事象について、明らかにしない理由は何か。会社の見解を明らかにすること。

【会社回答】適切な箇所に必要な周知は行っている。

4. 問題の車両をなぜすぐに止められなかったのか、明らかにすること。また、新大阪～東京間の各車両所に臨時入庫させる手配を考えなかったのか明らかにすること。

【会社回答】

使用期限の36ヶ月を超過していないことから安全上問題ないためすぐ止めるという手配とはならなかったが、検修連絡で指示している35ヶ月は超過していることから、車両所でスリ板組を交換した。

5. 使用期限切れのスリ板体組を使用した原因と今後の対策を明らかにすること。

【会社回答】

原因は、たわみスリ板体組の組立前の期限確認を怠ったためである。組立前の期限確認を2人体制で実施できるようにチェックシートの改良を実施し、チェックシートで製造月日、取付日を入力すると期限を自動で判別する仕組みを導入したほか、作業、確認者で期限を確認する項目を追加した。また、マニュアルにも35ヶ月経過確認についてもやるべき内容を明記し、作業台前に新たに廃棄対象年月を掲示している。

6. 今回の使用期限切れのスリ板体組が使用について、国土交通省に報告したのか明らかにすること。

【会社回答】 報告していない。

以上

【若干のやり取り】

組合：SEKが確認して、気付いたのは運用が始まってからか。

会社：そうである。運用が始まって、大井基地に入って取替を行った。

組合：鳥飼基地を出た後なのか。

会社：具体的にどの場面で気付いて、取替指示をしたのかは分からないが、鳥飼基地を出た後である。

組合：鳥飼基地で分かっていたが、運用で使って東京で取替ることにしたのではないか。

会社：分かっていたら使用してない。

組合：鳥飼の仕業検査でアリス入力をした時に分かるはずである。

会社：アリス入力で「基準範囲外で登録できない」と出て、検修当直とやり取りしたがアリスで入力が出来ない場面で、以前も議論したことがあるが、スリ板の番号に入力ミスであったり、色んなケースがあるので調査したが、35ヶ月を経過していたのをその場面では分からなかった。

組合：アリス入力の登録が出来ない時点で原因を調べるのではないか。

会社：その時点では、調べることは出来ない。

組合：現場で登録出来ない時点で調べるはずである。

会社：現場で登録出来ないと分かった時点で、手配を掛けている。

組合：時系列的に調べれば、分かるのではないか。

会社：鳥飼基地にいた時点で分かっていたら、鳥飼基地で交換をしていた。

組合：これまでスリ板の番号入力の間違いで、登録出来ないケースが多々あり、問題にしてこなかったのが、問題である。

会社：登録出来ない理由が出ないので、分からなかった。

組合：フェイルセーフ側で言えば、原因が判るまでは運用しないのが当たり前である。

会社：今回のケースで言えば、SEKの作業上のミスがあった。スリ板の期限は36ヶ月であり、安全上問題ない。

組合：期限までにひと月残っているから、問題ないということか。

会社：35ヶ月で廃棄すると謳っているのに、廃棄の期限は超えているが、安全上の問題はない。

組合：35ヶ月で廃棄しなかったことに対しては、指示違反になるのではないか。

会社：そうである。

組合：一方的にSEKの作業ミスで終わらせようとしているのか。

会社：責任施工でやってもらっているのに、SEKの作業指示違反は事実であるが、対策はJ

R側も、アリスの改修は直ぐに出来ないが35ヶ月の期限確認をマニュアル表で明確に記載確認出来るようにした。

以上